

山梨県立県民文化ホール  
サウンディング型市場調査実施結果概要

1. 調査期間

(申込)：令和7年11月19日(水曜日)から12月3日(水曜日)

(調査)：令和7年12月22日(月曜日)、12月24日(水曜日)

2. 参加事業者数

3者

3. 主な対話事項

(1) 民間事業者から見た施設の課題・魅力

ア 施設及び設備の課題・魅力

- ・ 大ホールが2000席、小ホールが700席と、公共公演を行うのに適した客席数を有している。
- ・ 広い舞台と袖舞台をもち、大規模公演など多様な舞台に対応することができる。
- ・ 設備は充実しているが、ホールのキャパに対してトイレの総数が少ない。

イ ソフト事業の課題・魅力等

- ・ 県民が参加できるワークショップやジュニアオーケストラなど、次世代育成や県民が気軽に参加できる取り組みを行っている。
- ・ 文化ホールを核としてアーティストや他の文化施設と連携し、廃校、お寺なども含めたアウトリーチ事業にも取り組んでいる。
- ・ アリーナクラスでコンサートを行うようなメジャーアーティストの公演が実現できていない。
- ・ ホールの稼働率が全国平均を上回っているものの、都市部のホールの稼働率に比べるとかなり差がある。

(2) 民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

ア イベント等の事業展開に関する提案

施設の特性を活かした企画

- ・ 2000席の客席をもつので、この規模を生かした全国ツアー公演の誘致を行うより幅広い年代層を対象とする企画
- ・ 親子向け、子ども向け、シニア向けなど、各世代を対象とする様々なエンターテインメントを誘致し提供していく

リピーターの確保につながる企画

- ・ 1回で完結しないシリーズものの講座や公演を開催する
- ・ 会員制度をさらに充実させ、先行予約や会員特典など沢山用意する

- ・ クリスマスやニューイヤーなど、季節にちなんだコンサート企画を恒例化する  
県外からの誘客にもつながる企画
- ・ トップアーティストの全国ツアーを誘致
- ・ 観光協会や MICE 事業などと連携し、ツアーや学会後の宿泊と翌日の観光を結びつけたパッケージ企画の提供

#### 芸術文化の担い手育成につながる企画

- ・ 学校との連携や鑑賞教室、舞台技術の育成プログラムなどの提供
- ・ 中高生を対象とした大規模なダンスコンテストやダンスイベントなどの開催
- ・ 吹奏楽コンクールや合唱コンクールなど学生向けコンクールの誘致
- ・ 有名アーティストを招聘してのマスタークラスの開催

#### イ 施設整備に関する提案

##### 既存の施設等の改修

- ・ 設置から43年経過し全体に経年劣化や老朽化がみられ、定期的な改修が望まれる
- ・ 舞台周りは10年に1度くらいの改修が必要

#### エ 事業方式に関する提案

##### 施設への投資回収期間を見込んだ指定期間の延長

- ・ 他のホールの指定管理では5年が多い。4年では、ようやく取り組みが定着してきたタイミングで次の更新のための準備を行わなければならない、最低でも5年は必要
- ・ DX や AI システムの導入などをした場合には、投資回収を見込むと10年とか、より長期の方が望ましい。

#### オ 自主事業の提案

- ・ 利用者の便宜を図るワンストップサービスを提供

#### 【課題】

##### (1) 大・小ホールの平日における稼働率向上

- ・ 無観客のホールを使ったレコーディング利用
- ・ 学会や企業イベント、研修など MICE の誘致
- ・ 平日の昼間でも参加しやすいシニア向けのコンテンツの実施
- ・ オーケストラピットも使う大がかりな演劇など、仕込みに日数がかかるものの誘致

##### (2) 駐車場の不足に対する対応

- ・ ホームページによる空き情報の発信や警備員による周辺駐車場の案内

#### 4. 今後の対応

今回の提案を踏まえ、指定管理業務の検討に活用する